兵庫県の地震活動

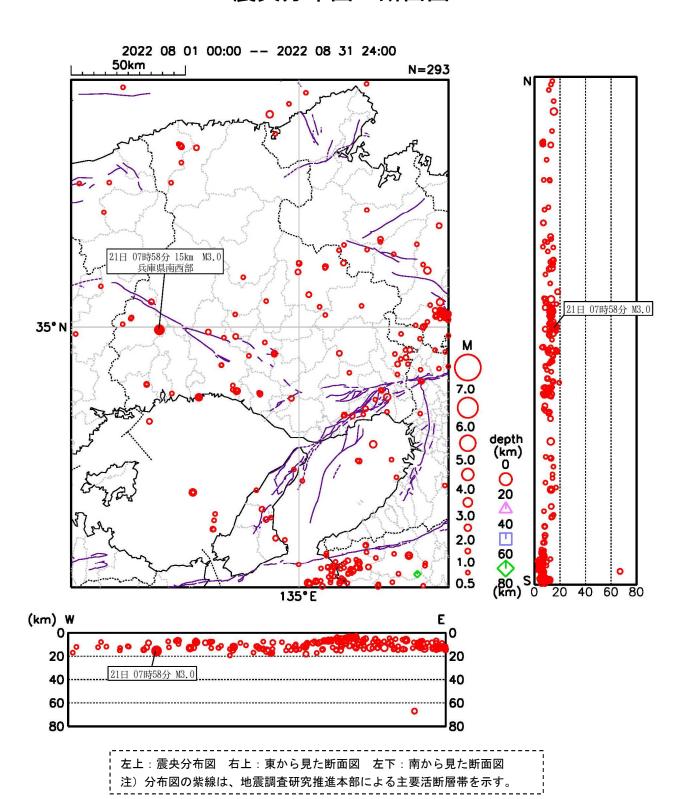
2022年(令和4年)8月

震	央分	布[図・	断	面	図	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
概	況•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	2
兵	庫県	で	喪虏	至1	以	上	を	観	測	し	た	地	震		覧	表	•	•	•	•	•	•	•	2
兵	庫県	で	喪度	艺1	以	上	を	観	測	し	た	地	震	の	震	度	分	布	図	•	•	•	•	2
_	ロメ	モ																						
	火山	~(つ借	旨う	ا بل	唐 /	<u> </u>	<u> </u>	нV	レ・	べ	ル		•	•	•		•			•	•	•	3

- * 「兵庫県の地震活動」は月1回発行し、兵庫県内の地震活動状況をお知らせするととも に、社会的に関心の高い地震について適宜解説を行います。また、「一口メモ」で地震 防災等の知識普及に努め、皆様のお役に立てることを目的としています。
- * この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- * また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米 国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデー タを用いて作成しています。

神戸地方気象台

震央分布図 · 断面図



概況

--8月の概況--

今期間、兵庫県内では震度1以上の地震を1回観測しました。

21 日 07 時 58 分 兵庫県南西部の地震(深さ 15km、M3.0)により、佐用町で震度 1 を観測しました。

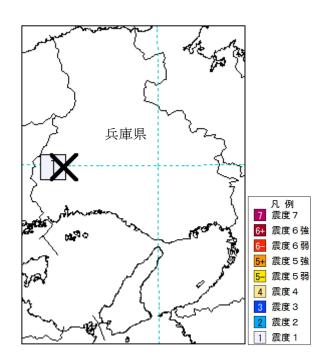
兵庫県で震度1以上を観測した地震一覧表

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	マク゛ニチュート゛	全国最大震度					
各地の震度(兵庫県内)											
8月21日 07時58分	兵庫県南西部	34 ° 59.4'	134° 27.1'	15km	M3.0	震度1					
震度1:佐用町下徳久*											

震源要素は、後日修正される場合があります。確定値は「地震・火山月報(カタログ編)」に掲載されます。 なお、*印は気象庁以外の地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

兵庫県で震度1以上を観測した地震の震度分布図

8月21日07時58分に発生した、兵庫県南西部の地震による震度分布図(観測点震度)。×印は震央を表す。



一口メモ

火山への備えと噴火警戒レベル

我が国には111の活火山があります。気象庁では、地震活動の監視と同じように、24時間体制で火山活動を監視しています。最近では、7月24日に鹿児島県の桜島で大きな噴火が発生し、噴火警戒レベルが5(避難)に引き上げられました。今月は、火山監視と噴火警戒レベルについて紹介します。

【 火山災害への備え 】

日本には111の活火山があります。兵庫県内に活火山はありませんが、これからのシーズン、火山のある地域を訪問する方もいらっしゃるかもしれません。私たちは、温泉や景観など多くの恩恵を火山から受ける一方、火山は噴火すると甚大な被害をもたらします。今から8年前の2014年9月27日には、御嶽山の噴火により、死者・行方不明者63名、負傷者69名等の人的被害が発生しました。このような恐ろしい一面も持つ火山から身を守るには、しっかりと装備を整えるとともに、その火山が活火山かどうか確認し、火山監視する気象庁からどのような情報が発表されるのか、知っておくことも大切です。

【 噴火警戒レベル 】

噴火警戒レベルは、火山活動の状況に 応じて「警戒が必要な範囲」と防災機関 や住民等の「とるべき防災対応」を5段 階に区分して発表する指標で、現在、国 内49火山に導入されています。導入され ている火山のリーフレット(下記 HP参 照)には、レベルごとの規制範囲が示さ れています。桜島では、7月24日にレベ ル5に引き上げられたことに伴い、火口 から概ね3kmの範囲に避難や立入禁止等 の防災措置がとられ、7月27日のレベル 3への引き下げにより、規制範囲が概ね 2kmの範囲に縮小されました(右図参照)。



リーフレット「桜島の噴火警戒レベル」

【 火山の状況に関する解説情報(臨時) 】

噴火警戒レベルの引上げ基準に現状達していないが、噴火警戒レベルを引き上げる可能性があると判断した場合、または判断に迷う場合には、「火山の状況に関する解説情報(臨時)」を発表します。この情報が発表されている場合は、火山活動が活発化していることを認識して、気象庁が発表する情報により注意してください。

(参考) 気象庁 HP「火山登山者向けの情報提供ページ」

https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/activity_info/map_0.html 気象庁 HP「噴火警戒レベルの全般的解説」

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/level_toha/level_toha.htm 気象庁 HP「噴火警戒レベル解説リーフレット(火山別)」

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/keikailevel.html